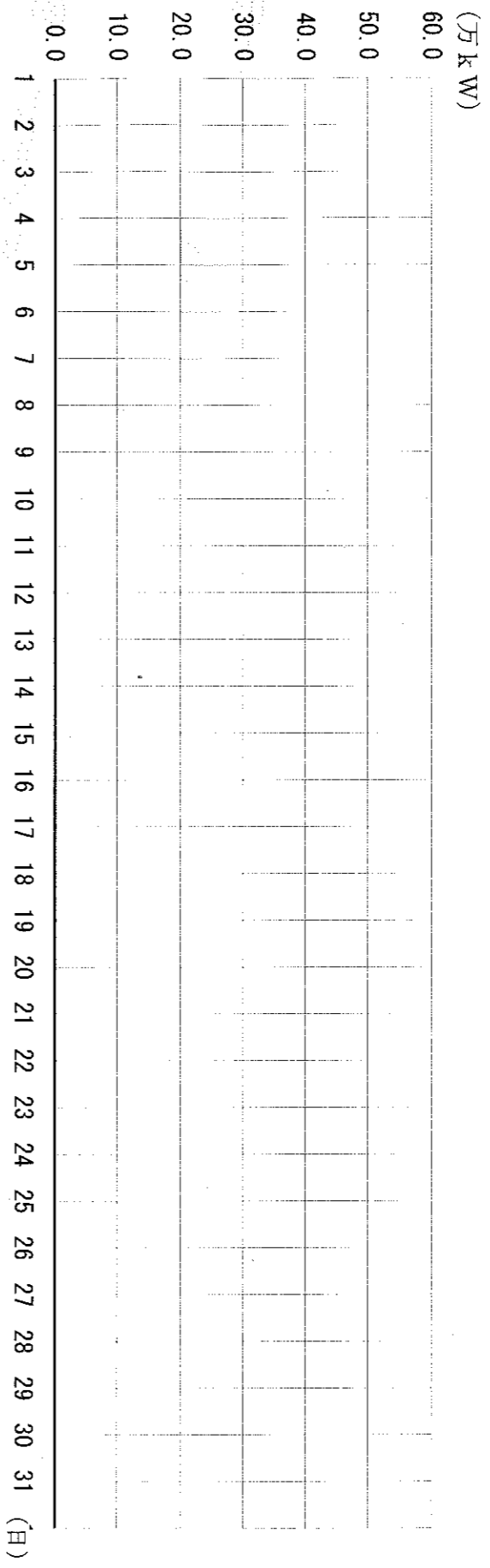


# 島根原子力発電所の運転状況 (平成25年5月)

## I. 1号機

1. 運転状況 発電時間 0 h 発電電力量 0 万kWh 設備利用率 0 %

2. 主要項目  
なし



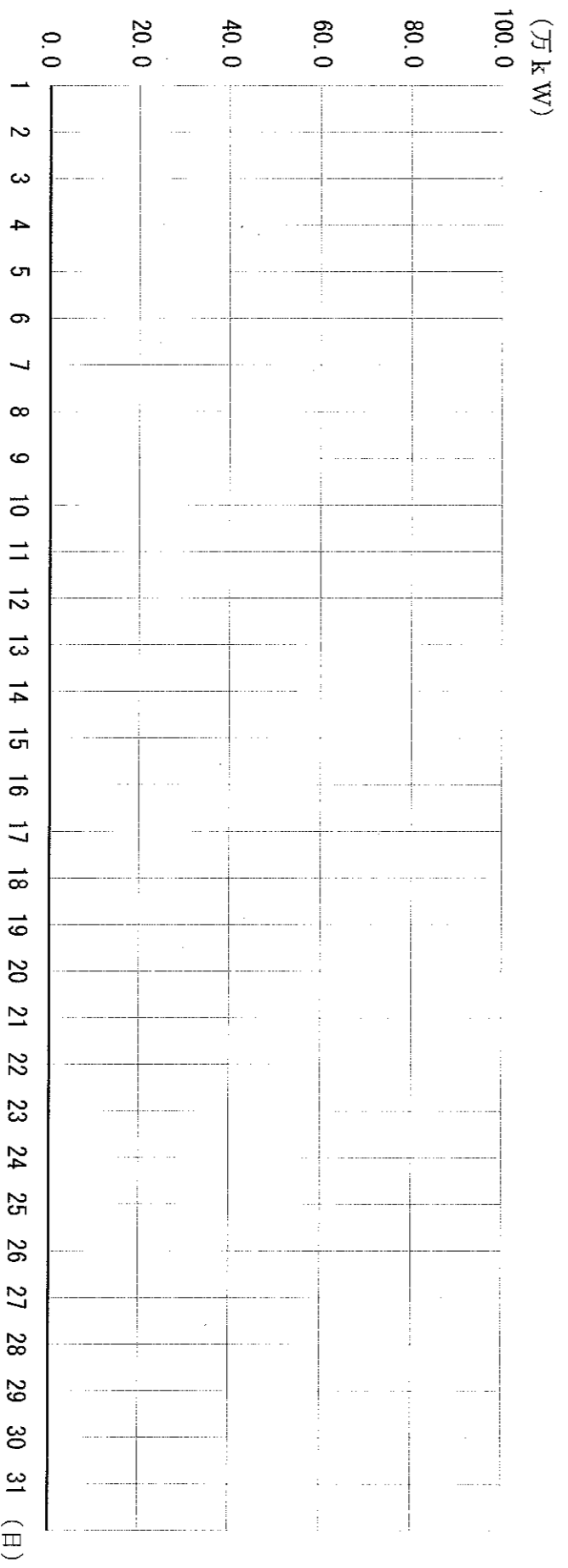
## 3. 特記事項

(1) 第29回定期検査中

## II. 2号機

1. 運転状況 発電時間 0 h 発電電力量 0 万kWh 設備利用率 0 %

2. 主要項目  
なし



## 3. 特記事項

(1) 第17回定期検査中

III. その他  
別紙参照

## 【その他】

平成23年6月13日から固体廃棄物貯蔵所B棟で低レベル放射性廃棄物を詰めたドラム缶の移動作業を実施していたところ、5本のドラム缶底面に腐食（貫通孔）があることを確認した。

当該ドラム缶底面（腐食部位）およびドラム缶が接地していた床面に放射能汚染は無いことを確認するとともに、内容物について健全なドラム缶への詰め替えを行った。

腐食ドラム缶（5本）および内容物を調査した結果、ドラム缶内面に打痕による塗装の劣化があることおよび内容物に水分があることを確認した。

当面の対策として、ドラム缶内面塗装の劣化防止およびドラム缶内面への水分付着防止の観点から、ドラム缶に内装ポリ容器を施すとともに、ドラム缶全数（約27,000本）を外観点検し、腐食ドラム缶が確認された場合には、原因調査および対策を実施することとした。

（平成23年7月および8月提出の「島根原子力発電所の運転状況について」に記載）

固体廃棄物貯蔵所に保管しているドラム缶全数（約23,000本）<sup>注</sup>についての外観点検を実施した結果、これまでに確認した5本以外に腐食による貫通孔のあるドラム缶は確認されなかった。

（注）平成23年8月8日に連絡した全数（27,000本）には、ドラム缶のほか、大型の低レベル放射性廃棄物を一時保管するコンテナボックス等を含む。

ドラム缶の点検とともに、コンテナボックス等についても外観点検を実施しており、腐食等がないことを確認した。

なお、貫通孔のあったドラム缶（5本）の使用状況等から、以下のとおり原因を推定するとともに、対策を実施した。

## 【原因】

- ・塗装が劣化したドラム缶を再使用していた。
- ・ドラム缶内面からの打痕が確認されたことから、廃棄物充填方法に問題があった。
- ・水分除去等の対策が施されていない廃棄物が充填されていた。

## 【対策】

- ・内面塗装が劣化したドラム缶の再使用をしないよう、ドラム缶の再使用基準を明確にし、手順書に記載した。
- ・廃棄物に含まれる水分の除去や水分を含む廃棄物の充填方法および内面塗装を傷つけない充填方法について手順書に記載した。
- ・ドラム缶に内装ポリ容器を施し、内面塗装保護することとした。

以上